



定例記者会見資料
2023年(令和5年)6月1日

藤沢記者クラブ各位

藤沢産酒米 100%の日本酒『^{ふじたくまじょう}藤田熊醸』が誕生！

持続可能な農業の実現に向けて、休耕田の発生を抑制

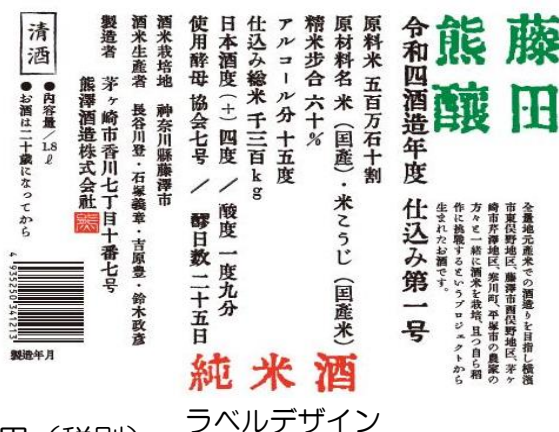
藤沢市では、多面的な機能を持つ水田の保全に取り組んでいます。今回、藤沢産米の付加価値を高める取り組みとして、4名の水稻生産者・湘南に残された最後の蔵元『熊澤酒造』・さがみ農業協同組合・藤沢市が協働し、藤沢産酒米100%の日本酒ができました。

■取組概要

- ・米の消費量減少に伴う米価の下落、生産資材の高騰、水稻生産者の高齢化及びインフラの老朽化などにより、藤沢市の水田は年々減少しています。
- ・水田は食料生産のほか、洪水防止、景観保全及び生物多様性確保など、多面的な機能を持っており、市民共有の財産として保全が必要です。
- ・日本酒を呑んで、藤沢市の水田保全を応援してください。

■商品概要

- ・名称：^{ふじたくまじょう}藤田熊醸
 - ・種別：純米酒（精米歩合60%）
 - ・米の品種：五百万石
 - ・製造者：熊澤酒造株式会社
(茅ヶ崎市香川7丁目10番7号)
 - ・販売数：1,800ml 312本
720ml 3,600本
 - ・販売開始日：2023年6月21日(水)
 - ・内容量、価格：1,800ml、3,110円(税別)
720ml、1,730円(税別)
 - ・取扱店：北村商店、藤沢とちぎや、勝浦酒店、へいわ酒店
- ※限定品のため、販売数に限りがあります。



■取組経過

- ・酒米プロジェクトに取り組み、全量地元産の酒米で酒造りを希望されていた『熊澤酒造』から、酒米作りに協力可能な水稲生産者の紹介について依頼があり、2021年に「さがみ農協藤沢市稲作部会」のメンバー3名が酒米「五百万石」を栽培し、藤沢産酒米の取り組みがスタートしました。
- ・2022年には藤沢産酒米100%の日本酒造りを目指し、メンバー4名で稲荷、西俣野、高倉の圃場で酒米作りに取り組みました。
- ・今回、必要量が確保できたことから、『熊澤酒造』に藤沢産酒米100%の日本酒を仕込んでいただき、販売することになりました。

■2022年の酒米づくりの様子



6月(田植え)

7月(生育調査)

8月(生育調査)

9月(稲刈り)

■ふるさと納税のお礼品に採用されます。

取り扱いふるさと納税ポータルサイト：さとふる、ふるなび、楽天ふるさと納税

取扱開始日：6月21日(水)

寄附金額：10,000円(720ml×1本)

20,000円(720ml×3本)

*この資料に関する問い合わせ先

【酒米の生産・加工に関すること】

藤沢市役所 経済部 農業水産課

担当：竹中、落合、河原崎

内線：3432

直通：0466(50)3532

【ふるさと納税に関すること】

藤沢市役所 財務部 財政課

担当：小林、中村

内線：2302

直通：0466(50)3503